

住民説明会① 長島中学校区

日時：令和 6 年 5 月 9 日（木）

開始：19：00 終了：20：54

場所：長島町役場指江支所 2 階大ホール

参加者：70 人

○ スクールバスにかかる金額はどのくらいか。財源はどこからでるのか。

答 現在、3 台のスクールバスを業者に委託しているが、1 台年間 700 万円ほど委託料が発生している。

今回中学校が鷹巣中学校、長島高校跡地どちらに再編しても、スクールバスは 8 台必要となるので、700 万×8 台＝年間 5,600 万円かかることになる。

しかし、これは業者に委託することを前提とした計算である。南国交通が撤退した今、スクールバスの運行については不透明なままである。

5,600 万円かかっても町が責任を持つことを約束する。もし運転手がいなければ、町の職員が運転する。

教育委員会は通学距離が 6 キロ未満は歩かせるが、スクールバスが出る以上は通学距離が 2～3 キロの生徒もバスに乗せて欲しい。

○ 2 月 10 日に原子力訓練があった。長島町にも断層があると思うが町は把握しているか。

答 確認はしている。

○ 断層の上に建物を建設するのは危険であるため、調べた方がよい。

長島高校跡地に統合する場合、解体費のコストが高いことが懸念されているが、耐震改修工事をして再利用はできないのか。

また、鷹巣小と城川内小が危険校舎になっているが、2 つの学校以外も老朽化が進んでいる。

答 長島高校跡地もコンサルタント業者に見てもらったが、建設から 50 年以上経過している校舎を再利用するのは、子どもの安全性からみるとよくない。耐震工事をするのなら新築の方がよい。

- 2P 総合体育館で部活をする計画となっている。総合体育館等町の施設は、町民や各種団体も普段から使用している施設だと思うが、町の施設を中学生が優先的に使用することができるのか。

3P 鷹巣中学校の集成図だが、前回、バスの駐車場の確保等で土地を買収すると聞いたが、買収予定範囲が増えているように感じる。地目の記載もないが、ここを買収するといくらかかるのか。

答 総合体育館はおっしゃる通り、町民が使用する施設である。

鷹巣中学校からも部活動や行事の際に体育館を使わせてもらえるのは助かるといわれている。

また、現在も部活動が終わってから町民が使用しているので問題ないと思う。

鷹巣中学校の駐車場（土地）についてだが、斜線のところすべてを買うわけではない。この範囲以内で買う予定。

- 鷹巣中学校の買収予定地の面積が、前回の説明会の時よりも増えているが、買収にいくらかかるのか。

答 ここは相談ができそうなところに斜線を引いている。

また、建物を建てる場所は埋め立てが必要になるが、今ある体育館や武道館を解体する予定なので、建物は跡地に建てることができる。

- おおよその金額はわからないということか。

追加してある土地は果樹園や宅地だと思うが、ここを買収するとなるとまた何億円かの支出が増えるのではないか。

答 斜線部の果樹園を全部買うなどさらさら思っていない。ただいま進めている基本計画内で購入できればと思う。計画を進めていく中で欲しい土地が増えてくるかもしれない。その時は実施計画の中できちんと金額を提示しないといけないと思う。

- 今日の町長の説明と資料をみて、学校の場所について、町長の意見と教育委員会の意見が割れていると感じたがこの認識であっているか。

資料に「1校に決めることは合意している」と記載してある。このことに関し説明を求めたい。

今後議会に条例案を提案されると思う。免許外教科担任や集団学習の弾力的な編成の話は何度も読み返した。今回私が保護者として考えたときに、先生たちの絶対数が

減ることになり、生徒一人当たりの教員の数が減ってしまう。そうすると、生徒と教員の関係が希薄になるのではないかと考える。

また、今まで各学校 1 人ずついた生徒会長や応援団長が 4 人（4 校）から 1 人（1 校）になっていく。集団のリーダーの役割をすることで成長してく子ども達や友人をみてきた。その彼らは、現在中学校区のリーダーになっている方もいるし、今の中学生も将来地域のリーダーになっていくことが予想される。

しかし、中学校が統合することで先頭に立つ機会が奪われることになる。

平成 26 年に中学校 1 校案が賛成 3、反対 9 で否決されたのは、このようなことを配慮した先生方が多くいらしかった結果だと想像している。

今回の住民説明会は、4 校を 1 校にする案で場所をどこにするかの説明がメインだと感じているが、その手前の子どもにとってなにを長島町が提供できる中学校教育かをもう少し時間をかけて考える必要があるのではないか。

答 中学校 4 校を 1 校に統合することに関しては町長、教育委員会で意見が一致している。

議会には 2 つの案を提出し審議してもらう。最終的に議決権を持っている議会に判断は任せる。

場所については、町長は鷹巣中学校、教育委員会は長島高校跡地で意見は割れている。

今後のスケジュールについては、住民説明会を各中学校地区 4 か所で行い、意見を集約し、5 月 24 日に町長、教育委員会からなる総合教育会議を開く予定。その中で鷹巣中学校、長島高校跡地どちらの基本計画でいくのか協議、決定し、その後パブリックコメントを 3 週間ほど募集し、再度総合教育会議を開き、最終的にどちらを議会へ上程するか審議する。

教育の充実や行事の充実についても意見があるが、学校が統合により最大限メリットがあるだろうと考えた結果である。

教員の減少も心配されるかもしれないが、専門の教員が増えることは子どもたちにとってもメリットである。

- ・ P6 総事業費をみると、前回の説明会と同じ金額である。しかし、鷹巣中学校は、買収予定地が増えているため、総事業費も変わるのではないか。

また、P2 多目的広場については、駐車場になると聞いていたが、先ほどの説明では野球場になると言われた。事業費はどこから出るのか。

駐車場のはずが野球場になると、事業費も資料に記載してあるものとかなりずれが出てくると思うので説明をしてほしい。

答 ご指摘の通り。コンサルタントは専門的な建築の設計業者であるが、実施設計になると、行政は予算を抑えようとなるが、教育委員会が主導で実施設計をしていくことになる。PTAとも話し合いをしながら実施設計を作成していく。

コンサルタントが出した数字というのは、経験上どうしても変わってくる。でもこのような説明会の際には大まかな叩き台の数字でなければ議論ができないため、大目に見て欲しい。

大幅に億単位で金額が変わることはないと思う。実際に実施設計になると、色々追加も出てくると思うので、少し余裕があるくらいじゃないと良い学校はできないと思う。

多目的広場は、最初、災害時の瓦礫置き場や避難所を重点的に確保するため、また災害がなければイベント時の駐車場にも活用することを想定していた。

学校の統合問題からみると、多目的広場のためグラウンドとして使用することも可能であり、また土地が余るため一般の駐車場としても活用ができる。

もっと言えば、多目的広場は野球をしている子どもたちにとって理想的な場活動が場所になるのではないかと思う。6億円の基金からこのようなところにお金をかけることができる。

多目的広場のため、何に使用してもよい。

○ 多目的広場で野球をするとすると、防球ネットやナイター設備が必要になり維持費もかかるが、野球場をつくるのなら設備費も事業費にいれるべきではないか。

答 維持費は6億円の基金の中から支出できると思う。

ふるさと納税をすると、子どもたちのために活用して欲しいと必ずお金が集まる。今まで3億~4億円が納税額だったが、今年は6億円が集まっている。

ふるさと納税からと、6億円の基金を活用すれば、理想的な子育てができるのではないかと思う。

実施設計のなかで欲しい設備等も増えていくだろう。その時に一般財源を使うのではなく、6億円の基金を活用した方がいいのではないか。

- ・ 説明を聞くと事業費（お金）がネックになっていると感じたため、買収予定地の追加分や多目的グラウンドにかかる費用も記載した方がよいのではないか。この資料では勘違いをしてしまう。

答 鷹巣中の造成が拡張してもそんなに金額は変わらないと思う。

- 6P 総事業費について、場所が鷹巣中学校、長島高校跡地それぞれになった場合の町負担額に 10 億円の差がある。

また、6P③その他急を要する施設整備について、鷹巣小学校と城川内小学校の整備費用が記載されているが、中学校を長島高校跡地に統合することで、鷹巣小学校を鷹巣中学校へ、城川内小学校を長島中学校へ移転することができ、約 20 億円抑えられるのではないかと。

答 提案があったように、城川内小学校を空いた長島中学校に移転すれば整備費用 6 億 5 千万円がだいぶ安くなると考えられる。鷹巣小学校の場合は、長島高校跡地になった場合でも、建て替えなければならない。

- 県の所有物である長島高校跡地がどんどん朽ちていくのをこれ以上見たくない。長島町の選挙区には国会議員 2 人に県議もいて絶対的な信頼をおいている。周りの力も借りて県へ長島高校の解体を要望して欲しい。

解体したのちに新しい中学校を建設して欲しい。先ほど町長からもあったように、改修、補強ではなく新しい学校をお願いしたい。将来は小中一貫校になる可能性もある。旧長島町地区の住民はできるだけ近くに学校をつくってほしいと思っている。

旧長島町地区の活性化と言っているが、なかなか難しい。そんな中、中学校がなくなり将来的に小学校もなくなれば、地域は廃れる一方である。

長島高校跡地の解体には多額のお金がかかるが、鷹巣中学校に統合した場合、近い将来改修や建て替えが必要になるだろう。長島高校を県に解体していただき、更地になったのちに新しい学校でスタートをしたい。

答 地元意識なく公平に判断してもらうためにコンサルタントに資料を作成してもらっている。

長島高校の解体については、伊藤知事の時代から要望を行っているが、知事名で解体はできないと文書で回答をいただいている。今度、議会とともに再度県に要望に行くよう進めている。

小中一貫校の話が出たが、4 校の中学校統合でさえ何度も議論をしているのに、小学校も統合となると地域がどのような思いになるだろうか。小学校は複式学級の解消を進めて、単式学級の学校は残したい。

人口が減少する中、建物にではなく、子育て世代に投資をしたい。

- 先ほど回答で、「中学校が長島高校跡地に統合して鷹巣小学校が鷹巣中学校に移転した場合も鷹巣小学校は建て直す」と言っていたが、結局鷹巣小学校は建て替えをするのか。

また、中学校がどちらの場所に統合になっても年単位で時間がかかると聞いている。新しい学校に入学するのは今の保育園児だと思うが、未就学児の保護者を対象とした説明会はないのか。

答 長島高校跡地に統合した場合、空いている鷹巣中学校に鷹巣小学校を移すことについて話し合いは可能だと思うが、地域が了承してくれるかどうか。

城川内小学校も同じで地域の理解が必要になる。今回は小学校の話は切り離して考えて欲しい。

- 鷹巣中学校の買収地が6筆増えている。全部は買収しないと説明があったがどの程度を想定しているのか。また買収額はどのくらいか。

答 この斜線部は用地交渉可能地を示しているだけで全部は買わない。実施設計をする中で、必要最低限の土地を購入する計画である。

- 斜線部の一部を必要に応じて購入することはわかった。しかしどの程度買収したときにどれくらい金額がかかるかは正確に提示して欲しい。

- アンケート結果を教えて欲しい。

町長は将来のためと何度も言っているが、本当に将来のことを考えると小中一貫校を見据えた学校をつくるべきではないか。地域も大事なのはわかるが、子どもたちのことを考えると間違いなく将来複式学級になると考えられる。

子どもたちは社会にでるためにも集団生活を学ばなければいけない。できれば長島高校跡地に小中一貫校を建てて欲しい。

また、ふるさと納税の話もあったが、小中一貫校を建てると町長が言ってくれたら、それこそ納税額も増えるのではないか。

答 人口減少で子どもがいなくなる時代になるため、子どもを産んでくれる人たちをど

のように援助するかが1番大切になっていくと思っている。

そのためにも無駄なところにはお金をかけず、既存のもので活用できるものは活用していきたい。

これからお金を払っていくのは今の子育て世代のため、いくらでもお金を使っていきたいということではない。

小中一貫校が全国各地で増えているが、長島町にとって小中一貫校で本当にいいのだろうか。どのくらい先の将来を見越しているかわからないが、小中一貫校になると小学生から中学生まで9学年が同じ学校に通うことになる。

小中一貫校でなければ、義務教育としての中学校が成り立たないのか、本当にこの地域に一貫校が必要か考えなければならない。

現在町内に小学生は500名以上いるため、まずは複式学級の解消が先である。複式学級にも良さはあるが、集団生活を大切にしていかなければいけない。

まずは残せる小学校は地域の中で温かく見守ってほしいと思う。

アンケート結果は、長島町立中学校の再編に関する意見を聞くことを目的としたアンケートを令和5年8月11日～令和5年10月21日まで中学生以下の子どもを持った家庭672世帯を対象として実施した。回収率は42.3%である。

内容は子どもの数や各学校までの通学距離、通学時間、新しい学校に求めるもの等である。新しい学校の整備にあたり充実した方が良いものとして部活動が多く挙げられている。

- 町民の何割が鷹巣中学校に賛成で何割が長島高校跡地賛成なのか分かったうえで話が進められているのかが知りたい。

答 長島町全体では、地域感情もあるため人口が多いところが有利になる。そのためアンケートに頼りすぎるのもいかなものか。

PTA 独自のアンケートもあったが、説明を聞いていないのにどちらの学校がいいか判断するのは難しいと思う。

- 他の地域の住民説明会で出た意見も踏まえて考えなければいけないと思う。できれば住民説明会の議事録を公開して欲しい。(意見)